



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月17日
上場取引所 東

上場会社名 相模ゴム工業株式会社

コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部本部長兼経営計画室 室長 (氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

定時株主総会開催予定日 平成25年6月26日

配当支払開始予定日

平成25年6月27日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	4,024	5.2	303	351.7	458	517.4	304	289.4
24年3月期	3,827	△11.9	67	△82.0	74	△73.2	78	△47.9

(注) 包括利益 25年3月期 598百万円 (—%) 24年3月期 5百万円 (△97.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	27.96	—	11.5	7.4	7.5
24年3月期	7.18	—	3.2	1.3	1.8

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 ー百万円 24年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	6,483	3,066	44.2	263.76
24年3月期	5,970	2,577	40.4	221.84

(参考) 自己資本 25年3月期 2,868百万円 24年3月期 2,412百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	545	16	△163	1,276
24年3月期	282	△68	120	809

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	—	—	10.00	10.00	108	139.3	4.4
25年3月期	—	—	—	10.00	10.00	108	35.8	4.1
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00		51.8	

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,100	4.9	150	40.2	170	60.4	105	105.9	9.65
通期	4,200	4.4	300	△1.0	350	△23.6	210	△30.9	19.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第14条の7(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合)に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 12「3. 連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

25年3月期	10,937,449 株	24年3月期	10,937,449 株
25年3月期	63,600 株	24年3月期	60,857 株
25年3月期	10,875,479 株	24年3月期	10,877,073 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	3,938	6.1	159	—	241	—	118	194.4
24年3月期	3,711	△11.3	△30	—	△20	—	40	△44.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	10.94	—
24年3月期	3.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期	8,016	—	4,605	—	57.5	—	423.56	
24年3月期	7,864	—	4,528	—	57.6	—	416.33	

(参考) 自己資本 25年3月期 4,605百万円 24年3月期 4,528百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
(開示の省略)	15
4. その他	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半においてはヨーロッパ債務危機の再燃や中国をはじめとするアジア経済の足踏みにより、低調に推移しました。

一方、年度後半には、政権交代にともなう金融緩和と政策の強化により、円安・株高が進行し、景気回復への期待感が高まりました。

このような環境のもと、当社グループは積極的な販売活動やコスト削減、高付加価値商品の開発等に努め、グループ各社の収益の確保に邁進してまいりました。

その結果、当連結会計年度において、売上高は40億24百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は3億3百万円（前年同期比351.7%増）、経常利益は4億58百万円（前年同期比517.4%増）、当期純利益3億4百万円（前年同期比289.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、若年女性向けのイベントへの協賛や演劇集団とのコラボレーション、インターネット販売の促進等、消費者とのコミュニケーションや継続したブランディングを展開し、積極的な営業活動を行ってまいりました。

ウレタン製コンドームにおいてはサガミオリジナルの販売が緩やかに伸長し、ラテックス製コンドームも新製品の上市により売上高は堅調に伸び、売上高は25億31百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は5億74百万円（前年同期比78.6%増）となりました。

②プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、既存顧客の深耕や新規顧客の開拓、末端ユーザーへのアプローチを進めましたが、原料価格の高止まりと販売価格への転嫁が困難な中、売上高は12億59百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は28百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

③その他

その他の事業は、安心・安全を確保した信頼される入浴サービスやきめ細やかな居宅介護サービス等の提供を実施し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その他の事業の売上高は2億33百万円（前年同期比11.5%減）、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失13百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては、新政権及び日本銀行の政策効果による円高是正、株高等により景気は回復基調となることが予想されますが、欧州債務問題の長期化等海外経済の不確実性、原油価格の上昇等、景気を下押しするリスクは依然として残っており、予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況の中、当社グループは優先順位を明確にした経営資源の適切な分配や効率的な運用、新規販売チャネルの開拓や海外販路の深耕と伸張に努め、堅実な収益の確保を図ります。

また、技術力の一層の向上と次世代を見据えた設備強化を検討するとともに引き続きのコストダウンや調達コストの低減を継続し、さらなる経営体質の強化に努めます。

次期の連結業績予想につきましては、売上高42億円、営業利益3億円、経常利益3億50百万円、当期純利益2億10百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末における資産の残高は64億83百万円となり、前連結会計年度末と比較し5億12百万円増加しました。

現金及び預金が4億67百万円、投資有価証券が1億円増加し、有形・無形固定資産が43百万円減少しました。

(ロ) 負債

当連結会計年度末における負債の残高は34億16百万円となり、前連結会計年度末と比較し23百万円増加しました。

未払法人税等が31百万円、繰延税金負債が51百万円増加し、長・短期借入金が54百万円減少しました。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は30億66百万円となり、前連結会計年度末と比較し4億89百万円増加しました。

利益剰余金が1億95百万円、その他有価証券評価差額金が67百万円、為替換算調整勘定が1億92百万円増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が4億32百万円で、減価償却費を1億41百万円計上し、配当金を1億8百万円支払ったこと等により前連結会計年度末に比べ4億67百万円（57.8%）増加し12億76百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動により獲得した資金は、5億45百万円（93.1%増）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益が4億32百万円で、減価償却費を1億41百万円計上したこと等によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動により獲得した資金は、16百万円（前年同期は68百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が45百万円と有形固定資産の売却による収入が90百万円あったことによるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動により使用した資金は、1億63百万円（前年同期は1億20百万円の獲得）となりました。

これは主に、長・短期借入金が54百万円減少し、配当金の支払が1億8百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率 (%)	36.1	43.4	40.4	44.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	38.2	41.8	36.8	42.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	3.8	2.8	7.8	4.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	16.8	21.8	23.0	59.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、世界的な視野で事業展開を繰り返し広げていく中で企業体質を強化し、財務内容の充実を図るとともに株主各位に対して安定的な配当の維持及び適正な利益還元を基本方針としております。従って、好業績時の利益配分は多少低めに設定させて頂く代わりに、損失を招いた決算期においては出来る限り、利益配分の維持に努めてまいります。

また、内部保留資金については、経営基盤・財務体質の強化、並びに、将来の事業展開に向けた投資に活用致します。

このような方針のもと、当期の配当につきましては、前期と同じく10円の配当を実施し、次期以降の配当についても、継続的に安定した配当を考えております。

2. 経営方針

(1)会社の経営の基本方針、(2)目標とする経営指標、(3)中長期的な会社の経営戦略、(4)会社の対処すべき課題

平成23年3月期決算短信（平成23年5月18日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.sagami-gomu.co.jp/corporate/ir-kessan.html>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	809,233	1,276,727
受取手形及び売掛金	1,444,798	1,486,376
たな卸資産	995,418	1,016,918
繰延税金資産	68,681	84,120
その他	64,479	57,346
貸倒引当金	△84,992	△89,254
流動資産合計	3,297,618	3,832,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,757,860	1,826,215
減価償却累計額	△1,218,715	△1,262,227
建物及び構築物(純額)	539,144	563,987
機械装置及び運搬具	3,741,935	4,039,404
減価償却累計額	△3,066,764	△3,353,343
機械装置及び運搬具(純額)	675,171	686,060
土地	939,379	856,829
建設仮勘定	—	267
その他	217,431	217,471
減価償却累計額	△199,394	△191,586
その他(純額)	18,037	25,884
有形固定資産合計	2,171,732	2,133,030
無形固定資産		
のれん	5,134	—
その他	1,832	1,933
無形固定資産合計	6,967	1,933
投資その他の資産		
投資有価証券	352,159	452,874
繰延税金資産	84,605	—
その他	61,769	72,390
貸倒引当金	△4,571	△9,324
投資その他の資産合計	493,962	515,940
固定資産合計	2,672,662	2,650,904
資産合計	5,970,281	6,483,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,538	588,138
短期借入金	2,189,200	2,158,200
未払法人税等	5,005	36,307
賞与引当金	68,333	67,157
その他	234,258	236,308
流動負債合計	3,066,334	3,086,110
固定負債		
長期借入金	23,400	—
退職給付引当金	96,028	60,823
役員退職慰労引当金	196,636	208,106
資産除去債務	5,246	5,261
長期預り保証金	3,100	3,100
繰延税金負債	—	51,069
その他	2,500	2,500
固定負債合計	326,910	330,860
負債合計	3,393,244	3,416,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,934,901	2,130,243
自己株式	△18,403	△19,008
株主資本合計	3,145,319	3,340,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,270	160,174
為替換算調整勘定	△824,704	△632,112
その他の包括利益累計額合計	△732,434	△471,937
少数株主持分	164,151	198,050
純資産合計	2,577,036	3,066,169
負債純資産合計	5,970,281	6,483,140

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	3,827,109	4,024,627
売上原価	2,633,522	2,666,246
売上総利益	1,193,586	1,358,381
販売費及び一般管理費	1,126,321	1,054,521
営業利益	67,265	303,859
営業外収益		
受取利息	1,811	11,582
受取配当金	10,172	9,724
作業くず売却益	12,271	17,123
不動産賃貸料	3,228	3,478
為替差益	—	110,693
その他	25,649	12,277
営業外収益合計	53,132	164,880
営業外費用		
支払利息	13,697	9,994
為替差損	31,974	—
その他	490	384
営業外費用合計	46,161	10,379
経常利益	74,235	458,360
特別利益		
固定資産売却益	153	704
特別利益合計	153	704
特別損失		
固定資産除売却損	1,801	23,791
投資有価証券評価損	38,245	—
減損損失	—	2,770
特別退職金	44,951	—
特別損失合計	84,998	26,561
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△10,608	432,503
法人税、住民税及び事業税	7,162	30,686
法人税等調整額	△103,134	88,244
法人税等合計	△95,972	118,931
少数株主損益調整前当期純利益	85,363	313,571
少数株主利益	7,260	9,463
当期純利益	78,103	304,108

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	85,363	313,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,862	67,904
為替換算調整勘定	△103,181	217,028
その他の包括利益合計	△80,318	284,932
包括利益	5,045	598,504
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,166	564,605
少数株主に係る包括利益	△5,121	33,899

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	547,436	547,436
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	547,436	547,436
資本剰余金		
当期首残高	681,385	681,385
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	681,385	681,385
利益剰余金		
当期首残高	1,965,574	1,934,901
当期変動額		
剰余金の配当	△108,776	△108,765
当期純利益	78,103	304,108
当期変動額合計	△30,672	195,342
当期末残高	1,934,901	2,130,243
自己株式		
当期首残高	△18,194	△18,403
当期変動額		
自己株式の取得	△208	△605
当期変動額合計	△208	△605
当期末残高	△18,403	△19,008
株主資本合計		
当期首残高	3,176,201	3,145,319
当期変動額		
剰余金の配当	△108,776	△108,765
当期純利益	78,103	304,108
自己株式の取得	△208	△605
当期変動額合計	△30,881	194,736
当期末残高	3,145,319	3,340,056

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	69,407	92,270
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,862	67,904
当期変動額合計	22,862	67,904
当期末残高	92,270	160,174
為替換算調整勘定		
当期首残高	△733,904	△824,704
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△90,799	192,592
当期変動額合計	△90,799	192,592
当期末残高	△824,704	△632,112
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△664,497	△732,434
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△67,936	260,496
当期変動額合計	△67,936	260,496
当期末残高	△732,434	△471,937
少数株主持分		
当期首残高	169,272	164,151
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,121	33,899
当期変動額合計	△5,121	33,899
当期末残高	164,151	198,050
純資産合計		
当期首残高	2,680,976	2,577,036
当期変動額		
剰余金の配当	△108,776	△108,765
当期純利益	78,103	304,108
自己株式の取得	△208	△605
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△73,058	294,396
当期変動額合計	△103,939	489,133
当期末残高	2,577,036	3,066,169

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△10,608	432,503
減価償却費	189,096	141,381
のれん償却額	19,918	5,134
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,923	8,582
賞与引当金の増減額(△は減少)	△307	△1,176
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18,094	△35,265
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,020	11,470
受取利息及び受取配当金	△11,983	△21,307
支払利息	13,697	9,994
為替差損益(△は益)	15,233	△43,733
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,647	23,086
投資有価証券評価損益(△は益)	38,245	—
売上債権の増減額(△は増加)	△24,088	△23,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,220	66,984
仕入債務の増減額(△は減少)	138,132	△67,756
特別退職金	44,951	—
その他	4,904	△7,868
小計	378,467	498,708
利息及び配当金の受取額	11,473	21,250
利息の支払額	△12,282	△9,190
法人税等の支払額	△65,012	△10,392
法人税等の還付額	—	44,637
特別退職金の支払額	△30,345	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,301	545,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,334	△45,699
有形固定資産の売却による収入	185	90,982
投資有価証券の取得による支出	△1,015	△818
無形固定資産の取得による支出	△79	△533
貸付けによる支出	—	△27,630
貸付金の回収による収入	360	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,884	16,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	864,780	190,000
長期借入金の返済による支出	△635,200	△244,400
自己株式の取得による支出	△208	△605
配当金の支払額	△108,967	△108,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,403	△163,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,756	69,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	313,064	467,494
現金及び現金同等物の期首残高	496,169	809,233
現金及び現金同等物の期末残高	809,233	1,276,727

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、各セグメントへの経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ヘルスケア事業」と「プラスチック製品事業」の2つを基本に事業を営んでおり、事業部単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「ヘルスケア事業」及び「プラスチック製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ヘルスケア事業」は、コンドーム、医療用ゴム製品及び生活自働具等を製造・販売しております。「プラスチック製品事業」は、食品用包装フィルム及び事務用ファイル等を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおりであります。

なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、セグメント利益に与える影響額は軽微であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,282,026	1,281,253	3,563,279	263,829	3,827,109	—	3,827,109
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,282,026	1,281,253	3,563,279	263,829	3,827,109	—	3,827,109
セグメント利益 又は損失(△)	321,871	36,226	358,098	△13,107	344,990	△277,725	67,265
セグメント資産	4,079,523	997,935	5,077,459	63,560	5,141,019	829,262	5,970,281
その他の項目							
減価償却費	162,671	15,618	178,290	1,897	180,187	8,908	189,096
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	24,887	8,271	33,158	1,003	34,162	9,774	43,937

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,531,482	1,259,530	3,791,012	233,615	4,024,627	—	4,024,627
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,531,482	1,259,530	3,791,012	233,615	4,024,627	—	4,024,627
セグメント利益 又は損失(△)	574,823	28,220	603,044	△13,896	589,147	△285,287	303,859
セグメント資産	4,409,193	1,002,355	5,411,549	51,158	5,462,707	1,020,432	6,483,140
その他の項目							
減価償却費	123,842	9,299	133,141	1,415	134,557	6,824	141,381
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	36,098	6,827	42,926	1,144	44,070	23,646	67,717

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	221.84円	263.76円
1株当たり当期純利益金額	7.18円	27.96円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
当期純利益金額(千円)	78,103	304,108
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	78,103	304,108
期中平均株式数(千株)	10,877	10,875

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

リース取引、関連当事者との取引等、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

4. その他

役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動(平成25年6月26日付予定)

退任予定取締役

取締役 中村 守(現 ヘルスケア事業部営業本部本部長)